

平成25年度

教科・科目名	社会科 世界史A 普通科3年	授業時間数/週	2
授業の目標	科目設定の趣旨に則り17・18世紀まではポイントを絞り説明し、19世紀からは通史学習を行い現代までつながっている時代の流れを覚えさせる。		
授業内容の方法	17・18世紀は資料集、板書を中心に授業を進め多くのエピソードを交えながら生徒の興味を引く。19世紀からは教科書を使いながら、歴史の流れを意識させる。		
評価方法について	試験 80点 評点20点		
使用テキスト 教科書 副教材	現代の世界史 山川出版社 ダイアログ世界史図表 第一学習者		
年間授業計画	前期 4月・イギリス産業革命 4月・アメリカ独立革命 5月・フランス革命 5月・反動と改革 6月・国民国家への道 7月・西アジア社会の変革 7月・インド東南アジアの植民地化 9月・東アジアの変動 9月・帝国主義の時代 9月・高度資本主義の時代	後期 10月・世界の分割と植民地化 10月・民族運動と列強の時代 10月・20世紀の特質 10月・社会生活の変化 11月・第一次世界大戦 11月・ロシア革命 12月・ベルサイユ体制と欧米諸国 12月・民族主義の新展開 1月・ファシズムの台頭 2月・第二次世界大戦	

平成25年度

世界史A 3年 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 5時間	近代の欧米社会 1. イギリス産業革命 2. アメリカ独立革命	産業革命の背景、展開、影響について把握させる。 アメリカ独立革命の背景、展開を理解させる。	産業革命によってもたらされた人類の生活の変化について関心を高めている。 授業の態度 発問と評価 課題の提出
5月 配当時間 5時間	3. フランス革命 4. 反動と改革	フランス革命からナポレオン時代、続く19世紀前半のヨーロッパ社会について把握させる。	ヨーロッパの伝統的秩序とその崩壊について関心を高め、意欲的に学習させる。
6月 配当時間 6時間	5. 国民国家への道 6. アメリカ大陸	19世紀後半の欧米諸国で国民統合が進み、市民社会が形成されたことを理解させる。	自由主義や国民主義による国民統合について関心を高め、市民社会のあり方を意欲的に学習している。
7月 配当時間 4時間	ヨーロッパ進出とアジア 1. 西アジア社会の変革 2. インド・東南アジアの植民地化	ヨーロッパの進出による世界の一体化が、アジアの従属化や変革をもたらすようになっていたことえお理解させる。	アジア諸国が欧米諸国に従属していった経緯について関心を高め、意欲的に学習している。
9月 配当時間 5時間	3・東アジアの変動 4. 帝国主義の時代 5. 高度資本主義と大衆社会	帝国主義時代の社会的特色を把握させ、アジア・アフリカなど地球規模で植民地化が進行していったことを理解させる。	帝国主義時代の特色について関心を高め、その矛盾について意欲的に学習している。

後期 10月 配当時間 5時間	6. 世界の分割と植民地化 7. 民族運動と列強の対立 現代世界と日本 1. 20世紀の特質 2. 社会生活の変化	20世紀の社会的特色を考えさせ文化や国民のあり方について考えさせる。	20世紀の社会的特色に関心を高め現代世界について意欲的に学習しようとしている
11月 配当時間 6時間	3. 民主化と国民国家 二つの世界大戦 1. 第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦によってもたらされた影響と、大戦後の国際秩序の問題点を理解させる。	第一次世界大戦が人類社会に犠牲をもたらしたことに関心を高め、その原因と現状について意欲的に学習している。
12月 配当時間 4時間	2. ベルサイユ体制と欧米諸国 3. 民族主義の新展開	第一次世界大戦後のアジアの民族運動の高揚を把握させる。	第一次世界大戦後の国際秩序について関心を高め、その矛盾について意欲的に学習している。
1月 配当時間5時間	4. ファシズムの台頭	ファシズム台頭の背景と展開を理解させる。	ファシズムの背景や特色について意欲的に学習しようとしている。
2月 配当時間 5時間	5. 第二次世界大戦	第二次世界大戦の背景と展開を理解させ、その意義を理解させる。	日本人として、第二次世界大戦に主体的な関心を高め、意欲的に学習しようとしている。
3月 配当時間 時間			